

横浜市民ギャラリーあざみ野
開館20周年記念ワークショップ
〈表現と生活をめぐる〉第4回

認知症の人にやさしい街 あざみ野で、趣味や遊びを 通じたケアを広げるには？

無料
要申込
40名

2025 12 月 9 日 火

9:30-11:45 山内地区センター
集会ホールA

横浜市民ギャラリーあざみ野開館20周年を契機に実施している地元の方との対話ワークショップ〈表現と生活をめぐる〉。第4回は、やさしい街あざみ野実行委員会と共に「趣味や遊びを通じたケア」をテーマに開催します。

認知症ケアの現場では、即興的・共創的な芸術活動が本人や介護者との関係に良い影響を与えることがわかってきており、全国各地の認知症ケアの場で、さまざまな芸術活動が行われています。当館でも「アート＋認知症 やさしい美術鑑賞プログラム」を実施してきました。

今回、前半に九州大学・中村教授がこれらの実践と理論の両面から講義を行い、後半に参加者と共に「地域が連携して行う文化芸術を通じたケアの広がり」について考えます。皆様のご参加をお待ちしています。



お申込みはこちら

講師・ファシリテーター **中村 美亜** 九州大学大学院芸術工学研究院 未来共生デザイン部門教授

専門は文化政策とアートマネジメント。芸術が人や社会にどんな変化をもたらすのか、そのしくみを解き明かしながら、ケアや評価との関係について実践的・学際的に研究している。訳書に『芸術文化の価値とは何か』（水曜社、2022年）、編著に『文化事業の評価ハンドブック』（水曜社、2021年）、単著に『音楽をひらく』（水声社、2013年）など。ジェンダー／セクシュアリティなど多様性・包摂性に関する著作も多い。日本文化政策学会、アートミーツケア学会理事。日本評価学会認定評価士。

主催：やさしい街あざみ野実行委員会、横浜市民ギャラリーあざみ野（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
助成：一般財団法人地域創造

お問い合わせ

横浜市民ギャラリーあざみ野

☎ 045-910-5656 ✉ info@artazamino.jp